

部局名	健康福祉部	所属名	長寿支援課	所属長名	土井 芳則	電話	483-1151 内線2220
-----	-------	-----	-------	------	-------	----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	3132	事務事業名称	生きがい対策事業				短縮コード	経常	3132	臨時		
予算区分	会計	01	一般会計	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	老人福祉費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等		老人福祉法							
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
定年退職後等の高齢者に対して地域に密着した仕事の提供及び高齢者の生きがいの充実や社会参加の促進を図る。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱(章)	01	第1章健康福祉都市をめざして					
高齢化が益々進む中で、社会参加・学習機会の要望が増えていく。					大項目(節)	02	第2節社会福祉					
					中項目	04	4. 高齢者福祉					
					小項目	02	(2)生きがい対策の推進					
					細項目	01	①「健康第一」の推進					
						02	②社会参加の促進					
				実施計画の計画事業								
計画事業の位置付けの有無			<input type="checkbox"/>	計画事業期間	～		計画事業費	千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	市内在住の60歳以上の市民						
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成23年度に実際に行ったこと: 八千代市シルバー人材センター運営費補助・八千代市単位老人クラブ運営費補助・八千代市長寿会連合会運営費補助・八千代市ふれあい大学校運営・地域デビュー講座開催・ふれあい大学校ふれあいプラザコースの増設 ※平成24年度に計画していること: 高齢者が活躍できる場を提供する為、平成23年度の事業を継続して行い高齢者の社会参加を促す。						
意図 (何を狙っているのか)	社会参加の場を提供することにより、生きがい・健康づくりの契機とする。						
ねらい(上位施策の意図)	入力対象外						
区分		単位	22年度		23年度		24年度
			実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標1	市内在住の60歳以上人口	人	53,287	54,328	54,381	55,618
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	単位老人クラブ数	クラブ	66	66	65	65
	指標2	ふれあい大学校入学希望者数	人	274	300	249	300
	指標3	シルバー人材センター会員数	人	714	750	686	750
成果指標	指標1	単位老人クラブ会員数	人	3,399	3,600	3,349	3,600
	指標2	ふれあい大学校卒業生数	人	94	100	141	150
	指標3	シルバー人材センター就業者数	人	80,428	85,000	78,103	85,000
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	3132	事務事業名称	生きがい対策事業			所属名	長寿支援課	
	単位	22年度		23年度		24年度		
		実績	計画	実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0	
		県	千円	1,646	1,646	1,646	1,646	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	36,012	36,610	36,667	35,974	
		その他	千円	3	3	2	0	
主な事業費の内訳		シルバー人材センター補助金27500千円単位老人クラブ補助金5110千円長寿会連合会3231千円ふれあい大学校運営費657千円		シルバー人材センター補助金27400千円単位老人クラブ補助金5340千円長寿会連合会3231千円ふれあい大学校運営費1176千円		シルバー人材センター補助金27400千円単位老人クラブ補助金5050千円長寿会連合会3231千円ふれあい大学校運営費1019千円		
人件費 (B)		千円	7,190.7	7,067.7	5,590.4	5,590.4		
トータルコスト (A)+(B)		千円	44,851.7	45,326.7	43,905.4	43,210.4		

3. 事務事業の評価 (SEE)

評価類型	評価事項	評価区分	理由			
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている	上位施策，第4次総合計画の体系「生きがい対策の推進」に結びついている。			
		<input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある				
		<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している	高齢化が進み，一層の充実が望まれるため，継続して行く必要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成していない					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある	高齢者の生きがい・健康づくりの契機とするため，市の施策として事業を実施していることから民営化になじまない。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input type="checkbox"/> 現状のままでよい	年金受給年齢の引き上げ，また，各企業の雇用体系の変化に伴い65歳以上の高齢者を対象として考えていく必要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある				
		<input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある				
		<input type="checkbox"/> 両方可能性はある				
		<input type="checkbox"/> 可能性がない				
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等	雇用体系の変化による社会的なニーズを把握するとともに，事業相互の連携を強めることで高齢者の社会参加を促進する。			
		<input type="checkbox"/> 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用				
		<input checked="" type="checkbox"/> IT化等の業務プロセスの見直し				
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input checked="" type="checkbox"/> ある	求められるニーズの多様化に対応する場合，事務的負担の増に繋がる。				
	<input type="checkbox"/> ない					
		類似事務事業名称	1		実施主体(所管部署)	
			2		実施主体(所管部署)	

コード	3132	事務事業名称	生きがい対策事業			所属名	長寿支援課																				
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input checked="" type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他			高齢者人口の増加に伴い事業対象者の自然増に対応する施策と併せて、時代の要請に応えるべく各事業を体系的に分析するとともに事業相互の連携を強化していく。																					
			<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続																								
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経費</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>不変</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>					経費			削減	不変	増加	成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	不変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	事業対象者の自然増に対応し推進する中で経費の増も見込まれる。	
		経費																									
		削減	不変	増加																							
成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							
	不変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																							
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
ふれあい大学校について応募者全員の受入れを希望する意見があります。	

所属長コメント	高齢者の方の社会参加を促し支援するため、事業推進しているところではあるが、ニーズの多様化や社会的要請に対応するため、今後、事業対象や内容を見直します。	
評価調整委員会評価	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続	高齢者の方の社会参加を促進するため、事業の拡充に努めること。